

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.8
2007.2

くしろ丹頂



白糠地区



鶴居地区

営農計画樹立 一斉に協議会



音別地区



幌呂地区

C O N T E N T S

- JA事務所図鑑 Vol.3【白糠地区】 ————— 1・2
- 家畜販売市況情報 ————— 5
- カメラアングル「営農計画樹立協議」の様相 ————— 3
- 普及センター便り 集乳旬報に注目!〜我が家の傾向と対策〜 — 6
- 「日豪関税撤廃で国内農業崩壊」(FTA関連) ————— 4
- 理事会報告/生乳生産実績(平成19年度1月) ————— 7



JAくしろ丹頂白糠支所

Vol.3

今回は、
白糠地区です。

事務所 鑑



白糠支所 支所長／畑野 明

【金融共済課】 課長／福士 哲也
 総務係 係長／渡辺 厚子

◇管理業務

金融係 係長／平田 朱美
 係／矢部 哲也
 佐藤 千鶴
 準／橋本 真由美

◇金融業務

共済係 係長／石井 公道
 係／松崎 千賀子
 野々村 典亮
 村上 千春

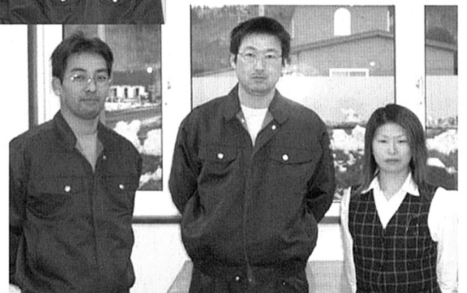
◇共済業務

【営農販売課】 課長／坂本 克則
 営農係 係／松崎 勇人 手塚 裕明
 本間 正芳
 臨／辻野 忠志
 パート／竹花 香織

◇総合的企画開発業務、組合員教育、青年部・酪農研究会・酪農ヘルパー組合・乳検組合等の育成指導、生活推進及び生産者組織の運営指導業務、共進会の開催、家畜防疫・乳質改善指導業務、補助事業等の実施業務、経営経済指導業務、農家経済再建対策指導業務、農業（農家）融資審査業務

販売係 係／位下 光広 小関 裕司 手塚 恵

◇農畜産物の販売、素牛の導入斡旋、女性部、馬事振興会等の運営指導及び管理業務、ホクレントラック業務の運営管理





【営農販売課】

生乳係 係長／菊地 仁
 準／坂下 早苗
 臨／鍵政 繁春
 窪田 司敏
 鹿内 輝夫
 小池 貴裕
 パート／武田 幸子
 坂本 文子

◇生乳集荷業務、生乳検査業務、生乳検査施設の運営管理、
 乳質改善指導業務

【購買課】 課長／石渡 正志
 資材係 係／田村 良友
 パート／石動 孝子
 川原 美由紀

◇購買業務



生産資材センター



白糖給油所 係長／瀬田 正男
 調査役／田口 保男
 係／池田 雅利
 倉内 佐知子
 臨／国安 厚子
 パート／田仲 泰弥
 高橋 卓
 寺澤 順子

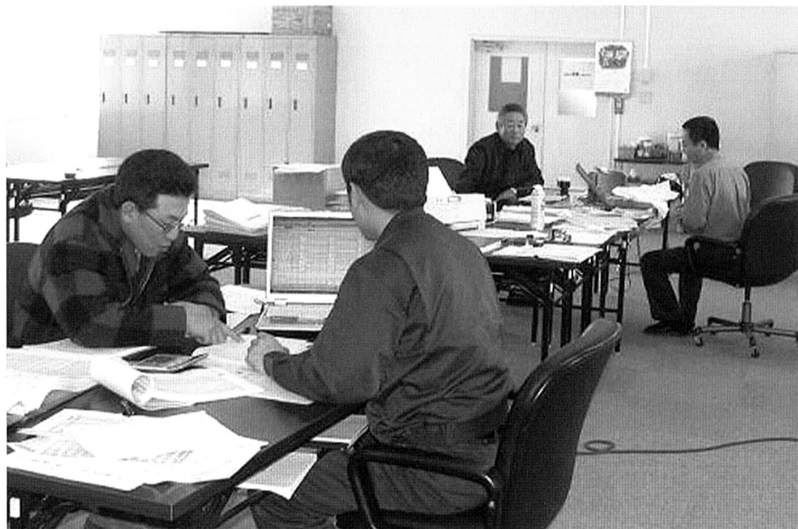
◇給油業務

カメラ アングル

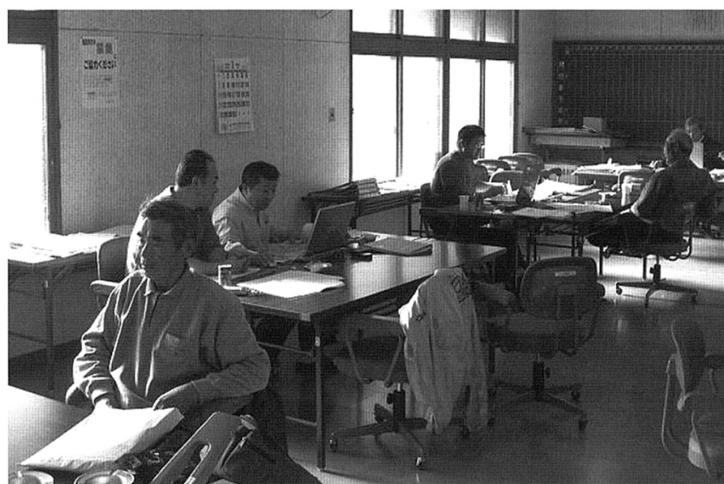
今月号のカメラアングルは、
各支所で行われた営農計画樹立
協議会の模様をお届けします。

各支所での
営農計画樹立協議会開催!

平成19年度営農計画樹立のための協議が各地で行われました。今年も昨年
から引き続き、Aタイプ、
Bタイプの目標数量選択
制度による計画生産が推
進されています。協議には
若い世代の方々の姿もた
くさん見られ、意欲の高さ
が感じられました。持ち帰
った計画はご家族皆さんで
内容をよく話し合い、理解
を深めて計画達成に向け
て頑張っていたきたいと
思います。



音別地区での協議会の様子



白糠地区での協議会の様子

■平成18年度 生乳生産実績 (12月)

	月計乳量 (kg)	12月前年対比 (%)	累計乳量 (kg)	累計前年対比 (%)
釧路丹頂農協	8,151,143.0	97.2	72,136,144.6	95.5
（鶴居地区）	2,453,310.0	92.1	22,271,986.0	92.9
（幌呂地区）	2,215,069.0	101.6	19,000,920.5	97.5
（白糠地区）	2,041,966.0	99.4	17,796,246.7	96.1
（音別地区）	1,440,798.0	97.0	13,066,991.4	96.2
管内計	42,744,358.0	96.1	389,166,164.4	96.1
（平成17年度管内計）	44,496,548.4		405,009,021.5	

日豪FTA 関税撤廃で国内農業崩壊

日本と食料輸出大国オーストラリアとの自由貿易協定(FTA)問題が風雲急を告げている。政府はその締結交渉入りの是非を判断する見通しだ。FTAは関税撤廃を原則にするため、日本農業には脅威そのもの。米、小麦、乳製品、砂糖などの重要品目を関税撤廃の例外にするめどがないまま交渉に突入すれば、農業崩壊という大きな危険を招きかねない。

安部晋三首相はFTA推進に積極的だ。オーストラリアとの協定締結にも、前向きと言われる。日本農業への打撃懸念より、両国の友好を最優先する姿勢のようだ。

迫る判断時期

12月13日にフィリピンで東アジアサミットが開かれた。現地で安部首相は

オーストラリアのハワード首相と首脳会談を行った。この機をとらえ、政府、与党内は、その首脳会談でFTA締結交渉入りを合意するシナリオが用意されていた。

松岡利勝農相も11月21日の閣議会で、両国のFTA交渉入りの政府判断を「首脳会談までに最終的な整理をする」と言及し、合意される可能性を示唆した。

不透明な例外

現在、両国は関税撤廃が原則のFTAを結ぶことの双方の利益と不利益を検証する共同研究報告を最終調整中。首脳会談で交渉入りの結論を出すには、この報告書をまとめ、政府が交渉の是非を判断する必要がある。

だが、報告書の調整をめぐって、オーストラリアは関税撤廃で農産物への柔軟性を示しているものの、日本がこだわっている重要品目を例外でできる「具体的な方向性」(農水省)は明確になっていない。

大打撃の試算

オーストラリアとFTAを結び、農産物に関税撤廃を強いられれば、国内農業は壊滅的になってしまう。その農水省試算も明らかになった。

同国から輸入農産物主要4品(牛肉、乳製品、小麦、砂糖)の関税をゼロにしてみると、安い輸入品に国産は太刀打ちできない。その肉牛、酪農、小麦、甘味資源作物(テンサイ、サトウキビ)の国内生産を維持するためには、新たな助成財源が年間四千三百億円も必要になるという衝撃的なものだ。

それを措置せず国内生産を壊滅させてしまうと、主要4品だけで農産産出額兆四千八百億円(05年概算)が吹き飛び、さらに、乳製品製造、製糖など関連産業への打撃も含め地域経済全体で被る損失は、二兆円規模

にも上がるとの予測すらある。農業が持つ多面的機能の喪失まで換算すれば、打撃は途方もないものになる。

許すな農業犠牲

この危機シナリオは、決して現実離れのものではない。オーストラリアは各国とのFTA締結で、農産物の関税撤廃を求めているからだ。唯一例外を認めたのは米国の砂糖だけだ。しかも、同国に重要品目の関税撤廃も認めれば、米国、カナダなどの食料輸出大国が黙っていないだろう。たちまち関税撤廃を求められ、日本農業は丸裸にされてしまう。

そんなオーストラリアとのFTA締結を、日本経済界は積極的に望んでいる。同国が自動車やテレビなど工業製品にかけているわずか5〜10%の関税撤廃と、資源・エネルギーの安定的供給が得やすくなる友好ムードづくりを期待していることだ。その経済界の部分的な利益のためだけに、国内農業を「貢ぎ物」として差し出すようなまねは絶対に許されない。

(日本農業新聞・INFORMATION&編集報12月号より)

家畜販売市況情報 (平成19年2月1日現在)

乳牛

■予想相場

(単位:千円)

規格	種別	登録牛	
		上	中
育成(8~12ヶ月)		300	230
初妊		500~450	450~420
経産	2産~3産	300	250
	4産~5産	250	200

初生とく

初生とく	規格	単価
	40kg~44kg	900円/kg
	45kg~60kg	1,000円/kg
	61kg~70kg	都度協議

(提供/ホクレン釧路支所)

ペットボトル入り牛乳の販売現実味を帯びてきました!!

牛乳の容器といえば古くはガラスびん、最近では紙パックが主流ですが、ペットボトルに詰められた牛乳が店頭で並ぶ日が現実味を帯びてきました。今年1月18日、内閣府食品安全委員会は、乳・乳製品の容器包装規格基準にPET(ポリエチレンテレフタレート)に関する基準を追加するための食品健康影響評価案を公表し、広く一般からの意見を聞いて実現に向けて取り組むことを明らかにしました。

PETは、ポリエチレンの一種で、エチレングリコールとテレフタル酸から作られる結晶性樹脂で、その頭文字からPETと略称されています。ペットボトルの主成分となっていることから、ペットボトルの呼び名は、この略称に由来しています。PETは強靱性、耐薬品性、透明性に優れており、牛乳関連でも発酵乳、乳酸菌飲料、コーヒー牛乳などの容器としてはすでに使われていますが、牛乳、低脂肪乳、成分調整牛乳などのいわゆる牛乳等の容器としては、これまで使用が検討されることがありませんでした。

牛乳消費の低迷の深刻化を背景にして、乳業メーカーの集まりである日本乳業協会が動きました。昨年11月、牛乳の容器としてペットボトルを認めるよう厚生労働省に要請しました。これが新しい容器を審議する端緒になり、厚生労働省の依頼を受けた食品安全委員会が今回の評価案をまとめました。評価案で同委員会は、「すでに乳酸菌飲料などに使用されているPET向けに定められて

いる基準規格が確保され、容器に入った牛乳等が適切な条件下で管理される場合」との但し書きつきながら安全性は確保されたとしたことから、この秋にも実現するのでは、という観測が一気に高まりました。

生産団体の中央酪農会議も歓迎の意向と伝えられていますが、牛乳は他の飲料にくらべて栄養が豊富な分、傷みやすく賞味期間も短い、紙パックよりコスト高になるなどの問題もあります。販売面でどれだけ智慧をだせるか、コスト吸収可能な商品が開発できるか…今、牛乳の消費拡大の大きな手がかりとして、生産者の注目と期待が高まっています。



釧路市の農地の新しい標準小作料が設定されました。

合併前の旧3市町を統一した新しい釧路市の農地の標準小作料が、次のように定められ、平成19年4月1日から適用になります。農地の貸借権設定の参考にしてください。

お問い合わせ先 農業委員会事務局 電話0154-31-4585

農地区分		10a 当たり	
		標準小作料	収量
牧草畑	上畑	3,500円	4,360kg
	中畑	2,500円	3,790kg
	下畑	1,500円	3,220kg
普通畑	標準小作料は定めない		

集乳旬報に注目！
我が家の傾向と対策

生乳の集乳旬報はどの酪農場にもある大変身近な情報源です。外作業の少ないこの時期、我が家の生乳旬報をじっくり見直し、課題を探してみるのはいかがでしょう。

◆旬報から読み取れること

旬報には乳量、乳脂肪率、無脂固形分率、乳蛋白質率、乳中尿素窒素(MUN)、氷点、体細胞数、生菌数などの項目があります。

これらの値は、暑さ、寒さ、エサが変化したときなど、様々な状況に合わせて変化していきます。

そして、旬報は「牛群の成績」を表しています。

その値が変化したということは、単に二頭や二頭の状況ではなく、様々な産次や泌乳日数の牛が集合した、農場の群全体の变化を示しています

◆旬報の活用方法

旬報を効果的に活用するため、次のポイントについて注目してみましょう。

変化を見る

乳質・乳成分は十日に一度の数字なので、今旬の数字だけを見ても、何が起きているかを把握するのは困難です。

前後の比較や季節の変動を見ることによって、牛がどの方向へ向かっているのか、なぜ値が増えた(減った)かを判断することが重要です。

どのような数字が押さえておく

旬報の特徴は「バルクに入った乳の数値」ということです。したがって、バルクに入らない乳はモニターできません。そしてその理由については、農場で把握しておく必要があります。

特に乳量の場合、出荷頭数を把握しておかなければ、増減があったとしても、正確な判断はほとんど出来ません。

指標となる項目と目標値を持つ

旬報の数字をすべてチェックするのは、多くの現象が絡みすぎて、逆に混乱してしまうかもしれません。

そこで、常にチェックする項目を決め、その基準値を定めてはいかがでしょうか。

中でも判断材料に利用しやすいのは、乳脂肪率、乳蛋白質率・MUN、体細胞数です。

表(1)にこれらの項目の目標となる判断基準を示しました。

乳蛋白質率を例に挙げると、群の数値が3.1以下になっているならば、ほとんどの産褥期牛が3.0を切り、エネルギー不足に陥っていることが考

えられます。

体細胞数の場合、常時20万以下にするよう気を使えば、万が一の時に30万を超えてしまう危険性が減ります。

旬報は群の平均値なので、より厳しい基準を持つ必要があります。そうすることで、「何かあったとき」に素早く対応し、被害を最小限に食い止めることができます。

表(1) 旬報項目の目標値

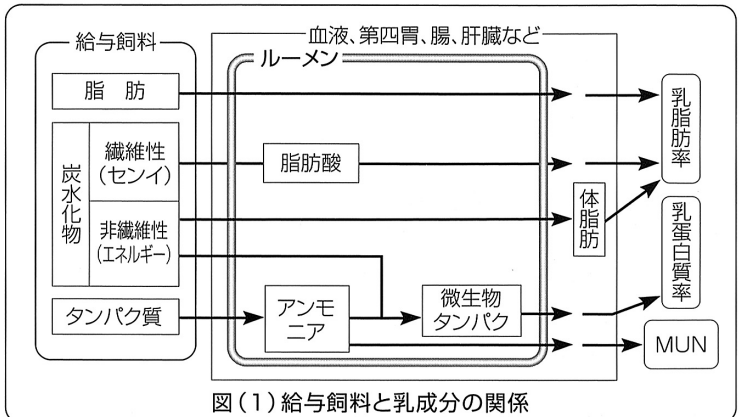
項目	目標値
乳脂肪率(%)	3.6以上
乳蛋白質率(%)	3.1以上
MUN(mg/dl)	8~16
体脂肪(個/ml)	20万以上

◆乳成分値を左右する要因

図(1)に給与飼料と乳成分の関係略図を示しました。

乳脂肪には繊維と脂肪が、乳蛋白質にはエネルギーと蛋白質が関係しています。

乳脂肪率低下時は、粗飼料の量や品質は十分か、切断長は適切かを、乳蛋白質率低下時はエネルギーとタンパク質の不足はないか、両者の分解スピードのバランスは適切かなどを確認します。乳蛋白質低下原因の判断材料としてMUNを用いることができ



図(1) 給与飼料と乳成分の関係

ます。

しかし、乳成分には、給与飼料の量・質・バランスの他に、給与方法や時間、間隔、タイミング、採食環境などと極めて複雑な事柄が関係しています。

さらにそれは、農場ごとに要因が違ってきます。

共通しているのは、ルーメン内発酵を良い状態で安定させるということが必要ということです。

詳しくは普及センターまでお問い合わせください。

理事会報告

第7回 理事会

平成18年12月26日(火)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 定期(第3四半期末)監査報告について
4. 11月末財務状況について
5. 事業の実施処理状況について

付議事項

- 議案第1号 大口信用供与先に対する融資の承認について
 議案第2号 理事と組合との契約承認について
 議案第3号 営農計画樹立基本方針の設定について
 議案第4号 固定資産の賃貸借及びリース取得について
 議案第5号 内部監査規程の改正及び個人情報保護に係る内部監査規程の設定について

その他協議事項

1. 平成19年度酪農畜産政策・価格政策に係る組織討議の実施について
2. その他

第8回 理事会

平成19年1月23日(火)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 12月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について

付議事項

- 議案第1号 監事監査の結果に対する回答について
 議案第2号 全国監査機構監査の結果に対する回答について
 議案第3号 特殊管理債権の回収について
 議案第4号 営農振興資金の追加設定及び融資について
 議案第5号 大口信用供与先に対する融資の承認について
 議案第6号 理事と組合との契約承認について
 議案第7号 役員選任実施要領の設定について
 議案第8号 総代選挙及び役員選任実施日程について
 議案第9号 職員就業規則の一部変更について

その他協議事項

1. その他

■平成18年度 生乳生産実績(1月)

	月計乳量(kg)	1月前年対比(%)	累計乳量(kg)	累計前年対比(%)
釧路丹頂農協	8,371,943.0	98.8	80,508,087.6	95.8
(鶴居地区)	2,513,542.0	94.0	24,785,528.0	93.0
(幌呂地区)	2,316,513.0	104.7	21,317,433.5	98.2
(白糠地区)	2,072,230.0	98.9	19,868,476.7	96.4
(音別地区)	1,469,658.0	98.5	14,536,649.4	96.5
管内計	43,657,453.4	97.5	432,823,617.8	96.2
(平成17年度管内計)	44,759,136.8		449,768,158.3	

□人事異動発令(退職者)



大変お世話になりました!

真坂 幸治

白糠支所営農販売課生乳係

平成19年1月31日をもって定年退職しました。

大変お世話になりました!

日下部 亮

購買部燃料課鶴居給油所

平成18年12月31日をもって退職しました。

編集後記 EDITOR'S NOTE

■本誌の記事にもありますが、ようやく牛乳のペットボトル販売が実現しそうです。酪農業界では暗い話題ばかりが耳に入っていましたが、これを機に酪農バブルが(はじけない程度に)到来しないでしょうか。ただ、ペット容器に入った輸入のロングライフ牛乳が更に安価にばらまかれることだけは勘弁……。

たいちゅう | V O J . 8 | 平成19年2月1日発行 | 編集発行 釧路丹頂農業協同組合管理部企画管理課 | 印刷(株)エー・アイ・ピー農文協